

柏崎市第2次歯科保健計画



計画の概要

令和5年(2023年)11月15日(水)
第1回柏崎市歯科保健推進会議

1

基本方針

生涯を通じて、全身の健康状態やQOL(生活の質)の向上を目指します

障がいのある方や要介護者も含めて、全てのライフステージを通じた計画とします

市民、地域、関係機関、行政が共通認識の下で連携して取り組みます

2

計画期間

平成30(2018)年度から令和7(2025)年度の8年間

第二次健康増進計画と最終年度を合わせた

令和2(2020)年度に中間評価を行った

3

目指す姿

市民一人ひとりが、生涯を通じて歯や口腔の健康を保つことができる

乳幼児期

- ・ 望ましい食習慣や生活リズムを、家庭を基盤に身に付ける
- ・ よく噛む習慣、歯みがき習慣を身に付ける

学童・思春期

- ・ 歯や口腔の健康を守るための食習慣や生活習慣を実践できる
- ・ 自分の歯や口腔に関心を持ち、むし歯や歯周病を予防する方法を身に付ける

青壮年期

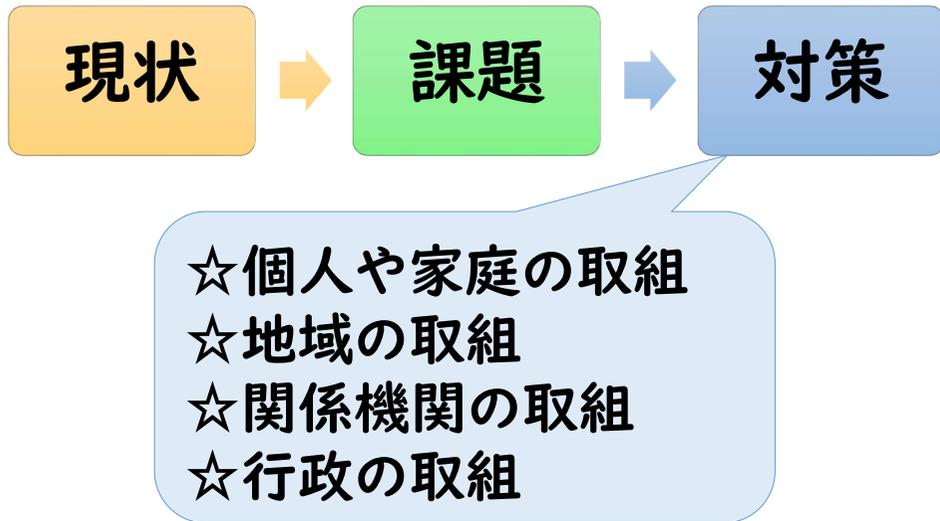
- ・ 健康な歯や口腔を維持することで、元気な体を保ち、笑顔でいられる
- ・ かかりつけ歯科医を持ち、定期的にセルフケアのチェックを受ける

高齢期

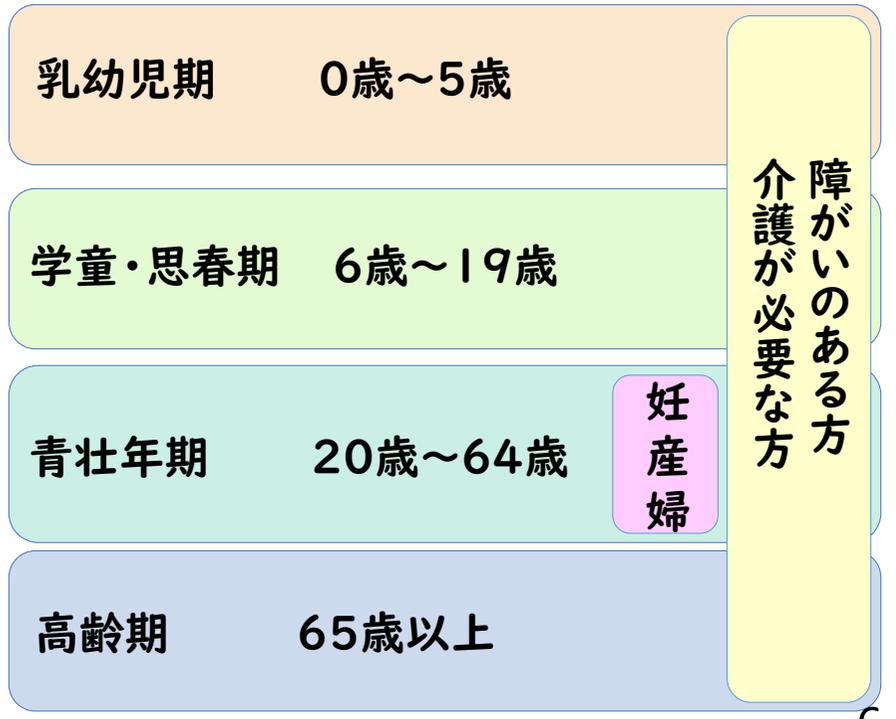
- ・ いつも清潔な口腔で食事をおいしく味わい、会話を楽しむことができる
- ・ お口の体操と適切なケアで、口腔機能を保つことができる

4

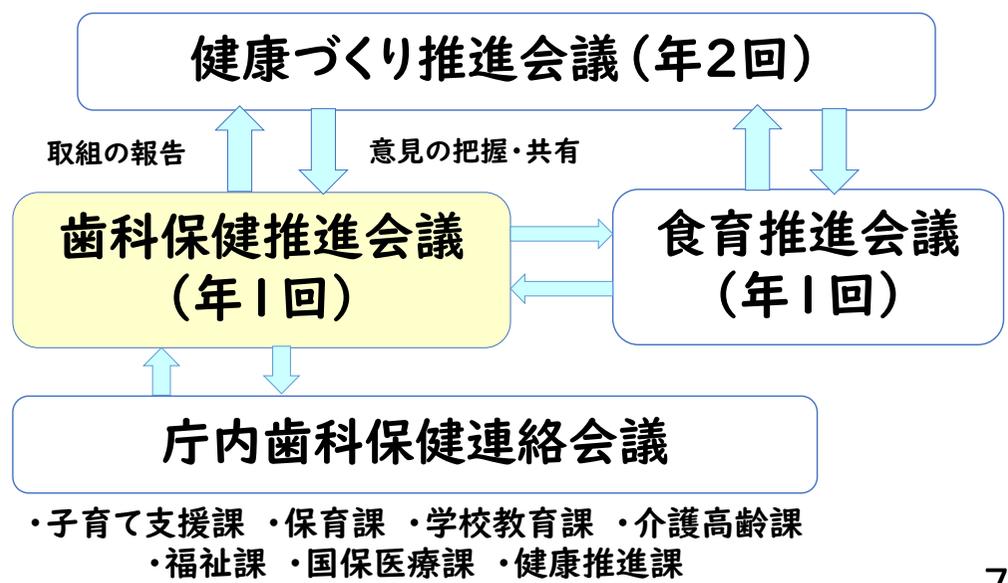
ライフステージごと



全てのライフステージ

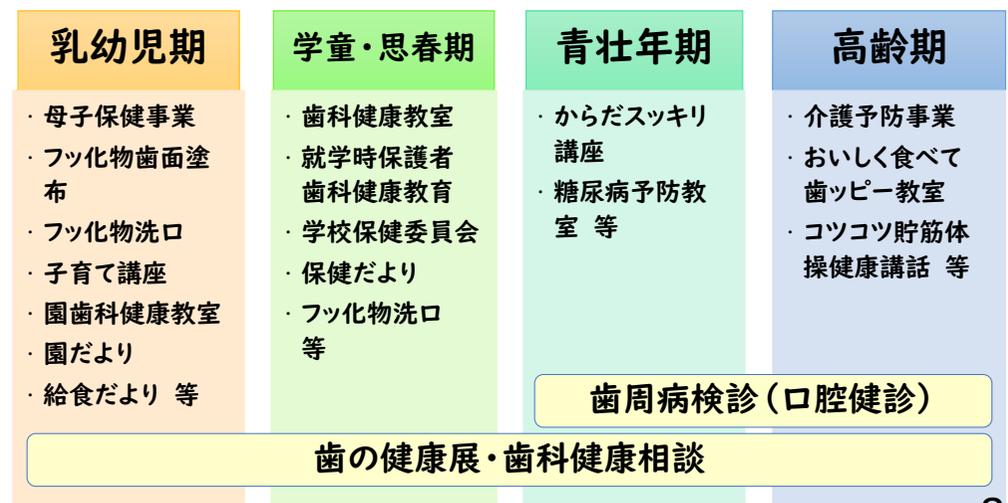


推進体制及び進行管理



歯科保健事業の取組

令和4年度(2022年度)～令和5年度(2023年度)



★出産前のパパママセミナー

- ・電話予約だけだったが、**オンライン予約も可能**とした。(R4～)
- ・母子健康手帳交付時に配布している「**歯周病検診(口腔健診)無料クーポン**」の利用について呼び掛ける。



9

★歯周病検診(口腔健診)

【これまでの対象者】

- ・20歳から80歳の希望者(70歳以上は無料)
- ・20歳、30歳、40歳、50歳、60歳の節目年齢の方には、**無料クーポンを送付**



10

★歯周病検診(口腔健診)

(R3推進会議意見)

★婚姻届けを出すときに、**無料クーポンを貰えると受診につながるのでは。**

【**新規対象者**】 R4～

- ・**妊婦とそのパートナーへ、母子健康手帳交付時に、無料クーポンを配布**

	配布数	利用者数 (R5.10末現在)
妊婦	365枚	105枚 (28.8%)
パートナー	320枚	39枚 (12.2%)

11

★歯周病検診(口腔健診)

(R4推進会議意見)

- ★歯周病検診だけでも申し込めることをアピールするとい。
- ★**申込時期に広報等で周知すると申込者が増えるのではないか。**

【**申込者を増やす取組**】 R4～

- ・**広報かしわざき2月号で、他の検診とともに歯周病検診の申し込みを促した。**
- ・2月の申込時期に合わせて、商工会議所「**ビジネス情報便**」にて、啓発チラシを配布。

12

歯の健康展

- ・歯科健診、フッ化物歯面塗布のみ予約制で実施。
- ・歯科健診を必須とし、保護者の受診を呼び掛けた。

参加組数	歯科健診受診者数 (うち成人受診者数)	フッ化物歯面 塗布者数
101組	269人 (132人)	111人

13

園を通じて、啓発チラシの配布

(R4推進会議意見)

- ★パッと目につくものを配布すると、保護者の意識も高まる



- ・11月8日「いい歯の日」に向けて配布

15

歯の健康展

(R4推進会議意見)

- ★お口の健康が身体の健康(内科の大きな病気など)につながることをアピールするとい

○予約がなくても参加できるコーナーを再開(R5~)

- ・年長児の作品展示
- ・歯みがき指導
- ・一口試食の提供
- ・身体の健康づくりについての啓発(糖尿病と歯周病、喫煙、がん検診、運動、こころの健康)
- ・在宅歯科医療連携室のPR
- ・歯みがき人形づくり
- ・むし歯菌の検査
- ・朝食摂取の啓発

14

障害福祉施設の聞き取り調査

- ・歯科保健や健康づくりに関する調査を実施
- ・通所(日中活動)系事業所19施設から回答

- ・歯科健診や歯みがき指導など、歯やお口の健康づくりに関する取組
- ・健康診断やがん検診、運動、食など、健康づくりに関する取組
- ・ゆったり健(検)診、歯周病検診を知っているか、事業所の利用者が利用しているか

- ・希望のあった2施設へ歯科健康教育を実施

16

★ コツコツ貯筋体操会場で 「オーラルフレイル」の啓発

《オーラルフレイル》

- ・嚙んだり、飲み込んだり、話したりするための口腔機能が衰えることを指し、早期の重要な老化のサイン

○市内159会場を予定

- ・オーラルフレイルチェック
- ・咀嚼能力判定ガム
- ・お口の体操、定期的な歯科健診の啓発

17

目標値を達成しなかった項目

乳幼児期	学童・思春期	青壮年期	高齢期
	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯のない12歳児の割合 ・健康な歯肉を持つ子の割合(高校生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳で24本以上自分の歯を持つ人の割合 ・過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合 ・歯ブラシ以外に、歯間ブラシまたはデンタルフロスを使っている人の割合 ・歯科保健に関する事業を行っている障害福祉サービス事業所の数 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合 ・訪問歯科健診事業(県事業)の利用者の件数

18

「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項の全部改正について」

令和5年10月5日付 厚生労働省医政局長

【基本的な方針】

- (1) 歯・口腔に関する健康格差の縮小
- (2) 歯科疾患の予防
- (3) 口腔機能の獲得・維持・向上
- (4) 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健
- (5) 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備

19

各世代(乳幼児期～高齢期)や、様々な分野(保健・医療・介護・福祉)に関して、取組のヒントとなる御意見をお聞かせください。



20